

世界の印刷四大展示会の参加と

災害支援活動及びローカル展など

(国際印刷大学校)

(2000年～2019年)

2019年6月現在

回数	名称	場所	期日	主たる内容
1	drupa2000	Dusseldorf	May-00	国際印刷大学校準備；人類史上最も偉大な発明～出版印刷チャレンジ～ 設立2000年6月16日
	Gutenberg 600	Maintz	May-00	Gutenberg Museum, Maintz大学論文査読、Gutenberg 生誕600年記念関連行事参加
2	Print01	Chicago	Sep-01	世界の印刷事情（日刊工業新聞、01-9-16号で発表）
3	IPEX02	Birmingham	Apr-02	IPEX2002と世界の印刷事情（日本印刷学会中部支部,9-16に報告）
4	野間賞受賞講演	名古屋	Feb-03	日本印刷学会中部支部で講演、野間賞記念論文集「グラフィックアーツ研究」（別巻2刊行）
5	IGAS2003	Tokyo	Sep-03	世界印刷技術会議（TBS）、印刷文化典（ホテルニューオータニ）
6	drupa2004	Dusseldorf	May-04	印刷メディア系14大学（欧州）カリキュラム会議、HP交流会（会場）
7	Print05	Chicago	Sep-05	Print05とアメリカの印刷産業発表（韓国の斗山東亜及び東京工芸大学）
8	IPEX06	Birmingham	Apr-06	INNOV8(TBS)、セントブライド印刷博物館（ロンドン）、ケンブリッジ大学
9	IGAS2007	Tokyo	Sep-07	国際印刷会議（会場）、印刷文化典（ホテルニューオータニ）
10	drupa2008	Dusseldorf	May-08	ブッパターナル大学との交流、MDCMeeting（会場）
11	日露学術文化交流	Tokyo	May-09	モスクワ印刷大学での印刷文化交流、Polygraph展（Moscow）
12	IPEX10	Birmingham	May-10	コベントリー大学、マンチェスター科学産業博物館、ビートルズ記念館（リバプール）
13	東日本大震災支援	東北3県	Mar-11	支援活動のため日韓共同印刷支援センターの設立（東京）、そこを拠点として活動
14	同上支援論文	Tokyo	Sep-11	印刷情報誌に2011年9月号から2012年12月号まで20回にわたり、支援活動連載発表
15	IGAS2011	Tokyo	Sep-11	日韓印刷文化シンポジウム主催、全印連連フォーラム（TBS）
16	drupa2012	Dusseldorf	May-12	欧州各国の印刷メディア系大学カリキュラム会議、ストラダエンソ技術交流会（会場）
17	JGAS2013	Tokyo	Oct-13	環境問題のセミナー（胆管ガン対応、印刷・製版工場からの溶媒の完全除去）
18	K-Print	Seoul	Aug-14	環境問題討論会、Dong-Yang Ink・大洋パッケージとの討論会（安山市）
19	IGAS2015	Tokyo	Sep-15	drupa2016 の打ち合わせ、ハイデルフォーラム全国大会（品川PH）
20	熊本地震支援	熊本・大分各県	Apr-16	熊本県の印刷・製版企業支援活動、熊本日日新聞社（熊本市）を中心として
21	光文堂機材展	名古屋	Jan-17	国際印刷情報メディア学会設立（事務局；名古屋市工業研究所）
22	国際文具紙製品展	Tokyo	Jul-17	デザイン・東京展（TBS）
23	Connect Jap 17	Tokyo	Oct-17	lot World Conference2017（TBS）
24	page2018	Tokyo	Feb-18	印刷メディア産業の動向のセミナー；IoT技術の社会実装（北九州大学）
25	千葉大学	名古屋	Jul-18	千葉大学画像工学同窓会中部支部設立総会でのセミナー（DICビル）
26	本木昌造顕彰会	長崎	Sep-18	毎年9月3日同顕彰会（大光寺）に参加し、世界の印刷博物館の20年間（1995～2015）の調査結果を発表
27	page2019	Tokyo	Feb-19	今後の印刷メディア産業の動向のセミナー（page2002から毎年セミナーを開催）
28	Pマーク審査会	Tokyo	May-19	日本グラフィックサービス工業会でのPマーク審査（2007年から年7回参加）
29	九州印刷情報産業展	福岡	Jun-19	九州サイン&デザインディスプレイ共催、毎年参加し交流している。（福岡国際センター）
30	drupa2020	Tokyo	Jul-19	drupa2020（ 2020年6月16日から ）への対応と国際印刷大学校創立20周年記念

注；国際印刷大学校研究報告創刊号から第19巻までを参照

(追記)

ヨーロッパ各国の印刷・同関連の大学は1964年にドイツに留学して、学術交流の対応を行ってきた。

表に示した世界の四大印刷展示会のdrupa,IPEX各展示会やバリーで行われていたTPGでも印刷教育関連のMeetingが行われていて、積極的に参加し、印刷メディアの学術交流を深めてきた。

一方、アメリカには1980年のPrint展のGATFで「日本でのスキャナー利用のアンケート調査」を発表し、その後、イリノイ大学や印刷メディア系の大学を訪問し、学術・文化交流の基本をまとめた。詳細は題目；Print80と米国大学視察；印刷新報1980年5月8日号参照。

中国、韓国、台湾、香港でも同様の対応し、韓国では釜慶大学（1980年から）、台湾では中国文化大学（1981年から）など教材とカリキュラム研究は相互の理解のため必修であった。

ここにまとめた表は**2000年6月16日に国際印刷大学校が設立され**、現在までの20年間の活動の抜粋であり、IARIGAIの発表などの記録は1980～1990年代のためHPを参照して下さい。

木下堯博

参考文献

木下堯博；新しい印刷メディア系専門職業大学の創設へ ～論文と資料集～（2015年5月31日）

国際印刷大学校のHPに掲載 www.media-igu.com